

令和7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

クエ九州北西・山口海域

| | | | |
|------|--------------------------------|-------|---|
| 対象水域 | 九州北西・山口 海域 (山口県～長崎 県) | 参画機関名 | 山口県水産研究センター、水産研究・ 教育機構 水産技術研究所沿岸生態シ ステム部・生産技術部、長崎県総合水 産試験場、佐賀県玄海水産振興センタ ー、福岡県水産海洋技術センター |
|------|--------------------------------|-------|---|

- ・ 令和5年度資源評価調査報告書を公表済み (https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_141.pdf)、次回令和8年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 参画機関は精密測定等の生物情報収集調査を実施
- ・ 各県は県内調査対象市場又は代表漁協又は代表港における漁獲情報収集調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 機構及び各県において合計7個体の精密測定を実施
- ・ 電子標識放流個体2尾が再採捕されロガーデータから移動生態に係る解析を実施中
- ・ 山口県では2013～2024年の調査市場における漁獲量を収集済み
2025年以降の調査市場における漁獲量を収集中
- ・ 長崎県では2016～2024年（県北・対馬地区）、2019～2024年（壱岐地区）、2020～2024年（五島地区）、2021～2024年（西彼地区）の代表漁協における漁獲量を聞き取りにより収集済み
2025年以降の代表漁協における漁獲量を聞き取りにより収集中
- ・ 佐賀県では2009～2024年の調査市場における漁獲量を収集済み
2025年以降の調査市場における漁獲量を収集中
- ・ 福岡県では2012～2024年の代表港における漁獲量を収集済み
2025年以降の代表港における漁獲量を収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊: 令和5年度資源評価調査報告書を参照 (https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_141.pdf)
- (2) 年齢・成長: 同上
- (3) 成熟・産卵: 同上
- (4) 被捕食関係: 同上

(4) 備考

クエの学名は長らく *Epinephelus bruneus* と *E. moara* が混在して使われてきた。Liu *et al.* (2013) は、クエ類は形態的・遺伝的に異なる2種から成ることを示し、東アジア・日本に分布する種（北方型=クエ）に *E. moara*、南シナ海を中心に分布する種（南方型）に *E. bruneus* の学名を充てた。しかし Hoshino *et al.* (2024) によって、クエの有効名は *E. bruneus* であり *E. moara* はその新参異名であることが示され、南方型は未記載種であり、新たに学名 *E. randalli* を命名して新種として報告され（併せて標準和名「ミナミクエ」を提唱）、クエの学名に纏わる混乱は解決したと思われる。しかし、このような経緯から、IUCN の Red List 報告書をはじめ、各種学術論文・書籍では、両者が混在あるいは入れ子になって報告されており、クエ (*E. bruneus*) の分布域に関する情報は未だ混乱している。本報告では、Hoshino *et al.* (2024) に準じて、クエ (*E. bruneus*) の分布域南限は中国福建省・台湾北部以北とする。

クエが属する *Epinephelus* は元来日本ではマハタ属と称されてきたが、Craig & Hastings (2007) により、マハタは *Epinephelus* ではなく *Hyporthodus* に帰属することが提唱された。これに伴い、*Epinephelus* の標準和名はアカハタ属とすると提唱されている（中村 & 本村 2022）。

(5) 引用文献

- Craig, M., T., Hastings, P., A. (2007) A molecular phylogeny of the groupers of the subfamily Epinephelinae (Serranidae) with a revised classification of the Epinephelini. *Ichthyol. Res.* **54**, 1–17.
- Hoshino, K., Senou, H., Nguyen, V.Q. (2024) Taxonomic status of the commercially important grouper, *Epinephelus bruneus* and *E. moara* (Osteichthys: Perciformes: Epinephelidae), with the redescription of *E. bruneus* and the description of a new species. *Sp. Divers.* **29**, 389–407.
- Liu, M., Li, J., L., Ding, S., X., Liu, Z., Q. (2013) *Epinephelus moara*: a valid species of the family Epinephelidae (Pisces: Perciformes). *J. Fish Biol.* **82**, 1684–1699.
- 中村潤平・本村浩之（2022）ハタ科 Serranidae とされていた日本産各種の帰属，および高次分類群に適用する標準和名の検討. *Ichthy* **19**, 26–43.